

花巻市石鳥谷地域協議会 平成23年度第1回会議 会議録

【日 時】

平成23年6月29日（水）午後3時～午後4時52分

【場 所】

石鳥谷総合支所3階 大会議室

【出席者】

地域協議会委員 8名

（欠席委員：長澤勝美委員、鈴木俊一委員、主濱芳江委員、伊藤賢治委員）

市側（支所）：菅原石鳥谷総合支所長、伊藤地域振興課長、照井市民サービス課長、
市民サービス課小原課長補佐、地域振興課佐藤課長補佐、高橋課長補佐、
清水地域づくり係長、熊谷主査

【報 告】

○花巻市総合計画の見直しの中断について

地域振興課長が企画調整課から文書により通知があり、口頭説明を受けた旨報告した。

【協 議】

○石鳥谷地域課題について

3名の委員から提案をうけ、内容を協議し継続審議とした。

【その他】

会議を傍聴した者 なし

※ 会議での発言等は別紙顛末のとおり

※ 会議における配付資料は以下のとおり

「石鳥谷地域における地域課題について」資料No.1

「花巻市石鳥谷地域協議会 平成22年度開催状況」資料No.2

「石鳥谷地域における地域課題について（H22.8.19発言要旨）」

「花巻市総合計画の見直しの中断について」（通知の写し）

※ 顛末

○ 進行／伊藤地域振興課長

1. 開 会 菅原久男副会長が開会を宣した。15：00

伊藤地域振興課長から、高橋貢委員の紹介と5月の定期人事異動職員の紹介を行った。

2. 挨拶

菅原総合支所長

会長からお許しがありましたので、先にご挨拶をさせていただきます。委員の皆様方には常日頃より、市政運営に対しまして特段のご支援ご協力をいただきまして大変ありがとうございます。特にも石鳥谷地域の地域課題につきまして様々なご検討をいただいております、深く感謝を申し上げます。昨年度は、特にも花巻市の総合計画の見直し素案ということで諮問がございまして、ご答申いただいたところでございますし、合衆市イーハトーブ構想の具体的な取り組みの案、それから公共交通中期実施計画素案について審議し、ご意見をいただいたところでございます。それから、委員の方からは地域課題のご提案がございまして、色々課題解決に向けたご協議がされているところでございます。

今、職員の紹介を行ったところでございますが、組織改編ということで、新たに本庁の地域づくり課そして各総合支所の地域振興課に地域支援室が設置されました。地域支援室には、専任の地域支援監（課長級）が置かれ、各地域の27のコミュニティ会議の支援と、1名体制になった振興センターの職員の支援を行いながら地域の生涯学習活動を側面から支援して参るというようなことでございます。石鳥谷地域の6つの振興センターも総合支所の所管となりましたので直轄として、私たち総合支所の方で6つのコミュニティ会議のご支援申し上げるということになりましたので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。5月1日からは振興センターを含め石鳥谷総合支所は52名体制になりました。合併前に比べると減員となっているわけですが、業務は本庁に各部門集約されておりますので現場、総合窓口としての役割を果たして参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

今日、時間がありましたら、震災関係のこと、その後のこと色々情報をお話ししたいと思っておりますが、まずは本題のご協議の方よろしくお願ひ申し上げます。

菅原昭造会長

平成23年度も、早3カ月が経過いたしておりますが、とにかく顔を合わせて話し合うことが大事だということでお忙しいところは存じますが、みなさんに

ご参会いただきました。とにかく想定外なことが起こりまして先が見えない状況になっているというのが実感でございます。

私は、日赤の県支部の評議員をやっております、22日に文書審議だということで大量の文書をいただきました。とにかく忙しいので評議員会を開くことができないのだ、ということでした。かつてこういったことはなかったと思っております。理由としては、日赤は震災対応で大変忙しいこと、もうひとつは、評議員のメンバーである町村長が大変忙しくて評議員自体が出席できそうもないということで、評議員会が成立しないかもしれないということから文書審議となったようであります。文書審議自体の違和感はないわけですが、日赤の病院会計を含め100億を超える決算を文書審議ということは、前代未聞だと思っております。こういうことはないようにしたいと思っておりますし、私共地域協議会も、そういう意味でもやはり、忙しくても顔を合わせて色々な事柄を話し合うことがまず大事かなと思ひましてご参会賜りました。ご了承いただきたいと思います。

総合支所長からも、後で震災の対応についてあるようではありますが、社会福祉協議会も特別養護老人ホームも随分職員が被災地に行っていますし、現在いしどりや荘には沿岸部から4名の被災者を受け入れています。非常に息の長い取り組みになるかと思っております。この震災により、色々なことが復旧、復興の過程で今までの常識では計り知れないことがあると思ひます。このことについては今後も情報交流をしていきたいと思ひます。

最後になりますが、本日は具体的な提案をいただいております。これらをベースにして、共通理解を深めて生産的に具体的に今後の会議を進めて参りたいと思っておりますので、よろしくご理解ご協力をお願いいたします。本日はご参会をいただきましてありがとうございました。

伊藤地域振興課長から、「花巻市総合計画の見直しの中断について」協議に入る前に「報告」を入れる旨説明し、次第を変更し会議を進めることとなった。

3. 報 告

菅原昭造会長

はい。それでは協議の前に報告ということでよろしいですね。報道もされたのでご存知の方もいると思いますが、正式に市から説明がありましたのでご報告申し上げます。

伊藤地域振興課長

このことについては、本日、担当課の方から急遽入ったものでございました。昨年に諮問をし、今年1月に答申した花巻市総合計画の見直し素案ではありますが、企画調整課によりますと、パブリックコメントや答申書等の意見220件ほどの

意見が寄せられ、一件一件精査していたところであり、3月議会におきまして、素案を案にして6月議会に提案すると答弁した後で、大震災が発生し、その震災の対応等となったということでございます。ここ（通知文書の写し）にも記載がありますが、その計画に記載していた各種数値の見込みがこの震災によって見通しがつかなくなったということでもあります。将来見込みの数値の見通しがつかない状態で計画見直し（案）を出してもこれが果たしてどうなるものか、内部検討し、見通しのつかない数字目標を出して市民に提示することは出来ないのではないかということで決まったそうです。そこで、改めて「強くて優しいまちづくり」等の再構築に向けた検討を進めながら計画を立てていきたいと、当然パブリックコメント等でいただいたご意見等も参考にして再構築していきたいということで、総合計画の見直しを中断するという説明がございました。新しい計画も、1年や2年ではなく時間がかかるかもしれないが、計画策定に取り組んでいくということでもございましたので、みなさまにご報告をいたします。以上でございます。

菅原昭造会長

はい、何か質問ございますか。みなさんからの意見・提言がありましたことをゼロにするという意味ではありませんが、いずれ中断して基礎数値、基礎的な考え方をもう一回再検討するという内容であります。よろしいでしょうか。

頷く者あり

4. 協 議

菅原昭造会長

それでは、報告は以上ということにさせていただきます、協議の中に入ってよろしいでしょうか。

協議（1）石鳥谷地域課題について、高橋委員さんには、新たな立場で新たな提案を頂いております。前からの事柄も踏まえながら進めて参ります。2回目以降は自由に討議していただきますが、今日は初顔合わせということでこの順番に提案者から趣旨の説明をいただきたいと思います。説明の後、市の担当の方からアドバイス等をいただき協議を進めていきたいと思います。

それでは、高橋貢委員さんからお願いいたします。

高橋貢委員

私は、先程ご紹介いただきました高橋でございます。

(1) 戸塚森森林公園の整備については、市内の宿泊研修、キャンプのできる施設としては、市内唯一の施設になったのではないかと思います。特に、トイレと遊歩道の整備が必要ではないかと思います。新堀コミュニティ会議でも新堀地域にある公園ということで、地域での位置付けを話し合い、コミュニティ会議予算か

ら案内看板などを作成してきた経緯があります。コミュニティ会議の事業で植樹もあるが、傾斜地での土石の流出など整備が必要ではないかと思います。地域の景観の問題では、戸塚森にコミュニティFMの中継局が設置されたが、電線により戸塚森の景観に少し支障が出たことが残念です。コミュニティ会議にはその（工事の）情報はありませんでした。

新堀地区にある森林公園ですが、花巻市の森林公園でもあるので広く皆様のご意見をいただきたいと思います。

菅原昭造会長

戸塚森森林公園のことについては、担当課の計画もあると思うので、担当者から説明願います。

地域振興課高橋課長補佐から、平成23年度の戸塚森森林公園のトイレ整備計画、管理人の配置による遊歩道の点検管理について説明した。今後の公園整備については、地元要望等を聞きながら計画していく旨説明した。

藤原真紀男委員

今後、震災の影響等で公園利用は増えると思われるが、利用者に不便をかけない範囲で、ケースバイケースで整備していただければと思います。

菅原昭造会長

ほかございませんか。

川村茂委員

よろしいでしょうか。

菅原昭造会長

はい。

川村茂委員

戸塚森森林公園の年間の利用者数と花巻市の子ども向けの公園があるが、子どもたちへの利用指導やその利用の見通し、学校の指導計画での位置付けはあるものかお聞きします。

地域振興課高橋課長補佐

利用状況は、常に出入りがある状況ですが、確認している範囲で年間5千人から6千人であり、平成19年度は7千人を超えたこともありました。類似公園としては、かつて、市内に県営野外活動センターと市の古代村がありましたが、い

ずれも廃止されています。市内の公園利用者数としてはトップクラスですが、今年度は、夏場のキャンプ利用の問合せがかなりあります。立地が良いこともあり、トイレ水洗化で今後の利用が増えるのではないかと見込んでいます。学校利用については、特に働きかけはしていませんが、学校行事として利用はかなりある状況です。

川村茂委員

コミュニティ予算を使う必要があるでしょうか。市の直轄でいいのではないのでしょうか。

藤原眞紀男委員

地元の森をもう少しよりよいものにしましょうという自主的な動きからコミュニティ会議で予算を取って動いているもので、大きな予算の整備等は当然に市でやってもらうけれども、自分達の地域のことだから自分達できることをしようという感じで進めています。

菅原昭造会長

そのとおりだと思います。メインは市で整備が建前だと思うが、限界があるので、コミュニティの予算の枠から地元で負担しているという常識的な判断だと思うが、いかがでしょうか。

高橋貢委員

地元にある公園を知ってもらうためにはどうしたらいいかと、コミュニティ会議でここ数年、案内表示の設置を予算化していました。人的なものでは、地域民がボランティアの作業をすることなどもコミュニティ会議の中で行ってきました。その中で人手だけでできないものを市に要望しているが、なかなか予算化にならなかったということがありました。今年から管理人がいるようですが、これからも市のできる範囲で整備をお願いしたいと思います。

菅原昭造会長

森林公園の整備についての課題の扱いについて、ほかに皆さんの方からありませんか。これからシーズンに向けて今日の話し合いを土台としながら、それぞれ対応をお願いしたいと思います。

それでは、高橋委員さんのそのほかの提案のうち、(6)について民児協の立場での提案と思うので、ここで提案をお願いします。

高橋貢委員

この震災で要保護者の安否確認がスムーズに行われなかったことについてということですが、電話が通じない、燃料がないということでお互いの連絡方法がう

まくいかなかったのかなと思い、今後の対応の検討課題・対応課題ということで出しました。

特に昨今は、個人情報などが言われているので、特に要援護者に関する情報が消防や行政、関係機関が食い違いにならないよう開示と管理についての課題ということ提起したいと思います。

照井市民サービス課長から、3月の震災時の民生委員による要援護者の確認の様子について報告した。

また、情報提供として、自主防災組織に関する講演内容より、民生委員だけでの安否確認に限界があることなどから、各地区での安否確認、避難などの支援を行うことが必要になってくる旨の紹介をした。

菅原昭造会長

これは自主防災組織との関係もあるので、今年度長い時間をかけて検討することとしたいと思います。

震災とは関係ないが、一人暮らしの方が遺体で見つかった例もあり、安否確認や個人情報の取り扱いなど、自主防災組織においても検討する点があると思います。八重畑、新堀は全地区に組織が出来ており、ほかにも組織づくりが進んでいますが、一人暮らしの方が増えている状況であり、この高橋委員さんの提案は大事なことだと思うので今後も検討していきたいと思います。

次に進みます。田中委員さんどうぞ。

田中由一委員

子どもを持つ親として、(2)石鳥谷地域の子どもの医療問題についてですが、子どもがよく利用する小児科、耳鼻科が石鳥谷地域にないことについて、宝陽病院は日曜診療があるようですが平日はないようです。共働きの家庭や母子家庭の親たちが急病で子どもを受診させる場合、遠くまで連れていかなければならないのは負担が大きいのではないかと思います。そこで是非、石鳥谷地域に開業は無理でも、医療センター内などに専門医の出張をしてもらい受診できる体制を取ってほしいと思います。

高齢者などは、通院の巡回バスなどの受診体制が整えられているが、どちらかというと、子どもに対する体制づくりは足りないところがあるのではないかと思います。課題として出しました。

菅原昭造会長

大切な問題です。市民サービス課長から説明してください。

照井市民サービス課長から、全国的な小児科・産婦人科等の地方の医師不足について説明。花巻市として見ると、市内の医療機関の専門診療科目

の構成上は、小児科も耳鼻科の開業医があるという現状の報告があった。

熊谷幸雄委員

医師への受診の仕方ですが、地元の医療機関を受診し、症状に応じて小児科を受診するようにするなど、地元の医療機関に総合医を目指してもらうことも大切ではないかと思います。

菅原昭造会長

この提案については、継続審議といたします。
次に、藤原委員さんお願いします。

藤原眞紀男委員

私の提案は、マンガのほうの話ですが、石鳥谷をどうにかして明るくできないかと考えてみました。ここに、岩手日報社が発刊した「コミックいわて」があります。その執筆者に石鳥谷在住の方がいるので、今すぐでなくても、何か協力を頂き駅前に看板を立てるなど、暗くなりがちな街をどうにかして明るく、将来は明るくなるよ、というそういうものが出来ないかと思う。当町に在住している人材があるのでご協力願って対応してみるのも一つの方法だと思い提案しました。

菅原昭造会長

田中委員さんいかがですか。

田中由一委員

記念館は、石ノ森章太郎記念館などもあるので石鳥谷にも是非と思うが、建物建設は予算が必要で、例えば支所などの空きスペースを活用して展示してみるのもいいのではないかと考えています。

菅原昭造会長

町のイメージアップにユニークな提案だと思います。

川村茂委員

東京の例ですが、長谷川町子記念館のある町ではまち全体がサザエさんのイメージを利用しているといった感じですか。

菅原昭造会長

町内に縁のある作家の協力を得てのイメージアップ戦略を出してもいい時期なのかな、とも思います。

藤原さんの提案についてほかにご意見ございませんか。このことについても継続して審議していきたいと思います。

ほかに皆さんから、何かございませんか。

川村茂委員

東日本大震災の関係で、お聞きしたいことがあります。

被災地では、義援金や支援物資が滞っていると聞きましたが、震災に関わることについて、花巻市としてどんな状況なのか、わからないのでお聞きしたいと思います。

菅原昭造会長

総合支所長、説明をお願いします。

菅原総合支所長から、市に対する義援金の報告、被災地での物資の状況、市内に避難している方の状況と仮設住宅の状況、市内公共施設の被害状況、高速道路無料化に伴う被災証明書の発行状況、風評被害に対する市の独自支援策について、及び公共施設以外の市内の被害状況について報告した。

菅原昭造会長

よろしいですか。

川村茂委員

はい。

菅原昭造会長

先程の高橋貢委員さんからの提案の(4)（農家の）嫁、婿不足対策についてと(5) 伝統芸能の維持継承について、ご説明いただけますか。

高橋貢委員

書いてあるとおりですけれども、私は新堀地区ですが、結婚をしていない男性、女性も結構います。少子高齢化のこともあり、考えていかなければならないのかなと思い提案しました。郷土芸能については、大迫地域は神楽など盛んだが、石鳥谷の郷土芸能もいいものがあるので、維持継承するサポート体制が出来ればいいのではないかと思います。子どもたちのための郷土芸能の発表の機会を増やしてはどうかと考えたものです。

菅原昭造会長

結婚問題は全国的な、と言いますか典型的な問題ではありますが、実は昨年度に石鳥谷で生まれた人は83人、亡くなった人は約210人、三分の一しか生まれていません。淵澤委員さん何かありませんか。

淵澤節子委員

私の班は12軒ですがその内6軒で、40歳を過ぎた方が結婚しておりません。私たちの時代には結婚しなくてはと思いましたが、今の人たちは自分なり趣味などで楽しんでいるというのが見受けられます。結婚に関心ないのかなとも思います。

菅原久男委員

結婚しても間もなく離婚したりして、結婚・家庭生活が面倒くさいという感覚なんですか。

菅原昭造会長

このことは非常に大事な提案ですが、これも時間をかけて皆さんで話し合ってくださいと思います。

伝承芸能については川村委員さんが、関心が高いと思いますがいかがですか。

川村茂委員

私は民謡を通じて県内の状況を見ているわけですが、解決策は“ない”わけです。民謡の人口は、下は3歳から上は95歳までで、大会をすればその幅で出てくるわけです。実際、平均年齢は60～70歳くらいです。家族の取組みが子どもの魅力になって若い人達が参加している状況と思います。民俗芸能がなかなか普及しないというのは、一つはそれでメシを喰えないということ。もう一つは、芸と生活はなかなか両立できないということで、衣装代や練習など金と時間が現代の人々には少ないということです。民謡の場合、子どもに民謡を教えて発表し興業として成功している例があるが、この例は親も巻き込んでおり金も時間もかかっています。学校教育で民謡は、関心のある教師が少ない、民謡を教えられる教師もいないという状況で、三味線や尺八の奏者となると稀です。従って子どもが民謡に触れる機会も少ないということです。

菅原昭造会長

継続的に取り組んでいるところは、家族の協力があるようです。

今日は3人の方々から具体的な提案がありましたし、それぞれに大事な事柄です。今後の継続審議としたいと思います。出来るだけ具体的な方策を考えていきたいです。

協議の方はこのあたりにさせていただきます。

菅原昭造会長

その他ということですが、次回の会議開催はいつ頃にしたらよろしいでしょうか。今年は例年と違うと思いますので、私と事務局に一任させていただきませんか。

「意義なし」の声あり

菅原昭造会長

その他ですが、ほかに皆さんからありませんか。

川村茂委員

次回の希望ですが、国や県、市の動きなどがわからないので、その様子を知りたい。その上でこの会議に結び付けていきたいというのが希望です。

菅原昭造会長

はい。国の動向は先行き不透明な状況であります。川村委員のご発言を踏まえ、国の動き、県の動き、市の動きについてお聞きしながらお互いに協議していきたいと思えます。以上にしたいと思えます。

4. そ の 他

菅原総合支所長から、7月4日から8日まで石鳥谷地域で行われる市政懇談会についてお知らせした。

5. 閉 会 菅原久男副会長が閉会を宣言した。16：52